

大 綱 主 要 項 目		事務事業の効率化				
具 体 的 な 項 目		第3セクターの経営の健全化・合理化				
実 施 計 画 項 目		真岡鐵道(株)				
担 当 課		総合政策課		関係課		
No.Ⅲ-4-(2)		令和3	4	5	6	7
実施年度	実施計画	○	○	○	○	○
	効果又は数値目標	新たな経営計画策定に参画。計画に基づく経営安定化策を支援	経営計画に基づく経営安定化策を支援	経営計画に基づく経営安定化策を支援	新たな経営計画策定に参画。計画に基づく経営安定化策を支援	経営計画に基づく経営安定化策を支援
進捗状況	実績	A	A	A		
	効果又は数値実績	新たな経営計画策定に参画し、計画に基づく経営安定化策を支援した	経営計画に基づく経営安定化策を支援した	経営計画に基づく経営安定化策を支援した		
現状と課題						
真岡鐵道は、通勤・通学者や、高齢者・子どもなど交通弱者の日常生活を支える重要な交通手段であることから、「地域の足」の確保のために、継続的な支援が必要である。真岡鐵道株式会社に対しては、関係自治体で施設整備に係る地域公共交通確保維持改善事業費補助金や、経営収支の不足分を補う経営安定化補助金等にて経営支援を行っている。 経営については、輸送人員が平成6年度(1,712,797人)をピークに減少傾向にあり、(令和5年度861,944人)特に全体の約7割を占める定期通学客は少子化の影響による減少は避けられず、新たな輸送人員の増加策が求められるほか、経費節減等の経営改善が必要である。また、鐵道インフラの老朽化等、新たな経営課題が生じている。 【令和5年度修正】						
課題解決に向けた方策						
関係自治体と連携しながら、令和3年度に策定した第四期真岡鐵道経営計画(計画期間R4～R6)の推進を支援し、経営計画に定めた輸送人員や収入が目標に達しない場合は、計画の見直しを求めている。 令和6年度には次期経営計画の策定に参画し、経営の健全化を求めている。 【令和4年度修正】						
具体的な取組内容						
・令和5年度は、関係自治体とともに以下の経営支援を行った。 【令和5年度】 ・真岡鐵道経営計画の各施策を推進し、関係自治体とともに真岡鐵道経営安定化補助金の交付等の経営支援を行った。(真岡市支援額：36,934,554円) ・燃料価格の高騰で、例年より支出の増加が見込まれる真岡鐵道を支援し、今後も市民の移動を支える重要な交通手段として確保、維持していくため、真岡鐵道通学定期の購入費を助成した。 R4のべ定期通学客数 590,629人 ⇒ R5のべ定期通学客数 578,858人 (交付実績：345人9,455,000円 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金活用) ・燃料価格の高騰に対し、関係自治体とともに燃料価格等高騰支援金を交付した。 (真岡市支援額：2,187,000円 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金活用)						
実績考察(理由、改善すべき点等)						
【令和5年度】 令和5年度は経常損益が138,813千円の赤字であるが、経営計画で定めた関係自治体支援額159,927千円以内で対応できている。 しかし、真岡鐵道の経常損失額は、R1年度107,690千円、R2年度123,918千円、R3年度139,093千円、R4年度115,448千円R5年度138,813円と増加傾向にあるため、長期的な経営見通しにもとづき、健全化に必要な施策の検討が必要である。						

考察を踏まえての今後の取組方針

【令和6年度】

- ・真岡鐵道経営計画に基づく各施策を推進するとともに、真岡鐵道経営支援協議会での検証結果を踏まえ、効果的な施策実施の支援を行う。
- ・燃料価格の高騰で、例年より支出の増加が見込まれる真岡鐵道を支援し、今後も市民の移動を支える重要な交通手段として確保、維持していくため、真岡鐵道通学定期の購入費を助成する。
- ・長期的な経営見通しに基づいた対策を検討するため、令和7年度から令和9年度までの次期真岡鐵道経営計画策定に参画し、真岡鐵道の長期的な経営収支や、持続可能な公共交通手段を沿線自治体とともに検討していく。